

もっと知りたい!!

病院のこと・先生のこと。 香川医療生協 善通寺診療所

〒765-0011 香川県善通寺市上吉田町6丁目8-9
TEL 0877-62-0311
URL <https://kagawa.coop/zentsuji/>




香川医療生協
善通寺診療所
所長
藤原高明 先生


香川医療生協
善通寺診療所
安田 理 先生

① 病院のココが自慢!
訪問看護ステーションと訪問ヘルパーステーションを併設し、訪問診療に加え、デイケアを行っています。在宅医療を中心に医療センター・介護事業所、行政と協力しながら活動しています。

② 患者さんと接する時に大切にしていること
傾聴すること。望みを聞くこと。よい雰囲気の中で患者さん中心の医療を提供することを心掛けています。

③ 医師になろうと思ったきっかけ
教員の家系で姉が教員になったこと。社会との役に立つ仕事で分かりやすいと思ったのが医師でした。自分で決められるところも自分に合っていると思いました

④ もし、医師になっていたかったら
執筆活動やジャーナリスト

⑤ 先生が実践している健康法
3食を食べること。朝食は生やさいと果物を食べること。

⑥ どっち?
朝食は 犬派 猫派
 和食 洋食
休日は インドア派 アウトドア派

⑦ 好きなこと(もの)ベスト3
①読書 ②映画 ③旅行

⑧ 四国こどもとおとの医療センターに期待することや要望
①予約が決まるまでが遅いのでスムーズにして欲しい。
②この地域で受け入れ先がない、脱水や食事ができないなどのちょっとした入院を受け入れて欲しい。

⑨ フリースペース
来年、70歳を迎えるので仕事のペースを少しゆっくりしていく変わりに、何をするかに思いをめぐらせています。



独立行政法人 国立病院機構

四国こどもとおとの医療センター

〒765-8507 善通寺市仙遊町2-1-1 TEL 0877-62-1000

<https://shikoku-mc.hosp.go.jp>

交通機関 ▼善通寺I.Cより車で5分

▼JR土讃線善通寺駅下車徒歩25分

FILE 02



K O I F U M I

こころを込めて いつも ふれあう医療を みなさんと

2023.03 vol.02

独立行政法人 国立病院機構
四国こどもとおとの医療センター <https://shikoku-mc.hosp.go.jp>



新年度に向けて - ウイズコロナの地域医療 -

四国こどもとおとの医療センター 院長 横田 一郎

新型コロナウイルス感染症の第8波も収束しつつあり、令和5年度はいよいよ5類への変更により、ウイズコロナの中で、医療を提供していく日々になるかと思います。当院も、With -共生-をテーマに以下のように病院目標を立て、職員一同過渡期の1年を乗り越え、地域医療に貢献して参ります。

1. With コロナ

コロナと共に、当院に求められるコロナ医療を維持しながら通常医療を以前の状態に戻し、新たな診療機能の充実に努めて参りたいと思います。

2. With 地域

地域医療機関、地域住民の皆様と共に歩む病院として、病診連携をさらに深化させ、持続可能な地域医療の一翼を担わせていただけたらと思います。

3. With 職員

職員同士の協働で患者サービスをさらに改善し、タスクシフト、シェアによる働き方改革を推進していきたいと思います。

ウイズコロナの先には必ず穏やかに暮らせる地域の未来があると信じ、皆様と共に歩んでいきたいと思います。令和5年度もどうぞよろしくお願いいたします。

未来ISSEY「四国水族館に行ってきたよ」

四国こどもとおとの医療センター 療育指導室 主任児童指導員 岡野恭子



かな笑い声が聞こえてきます。未来ISSEYのボランティアさんは事前に下調べをしてくださり、水族館の生き物クイズやくじ引きなど、利用者さんとの交流も盛り上りました。また、病棟では海にちなんだ装飾や音楽、アロマなどを準備しており、未来ISSEYとのコラボレーションを楽しむことができました。多くの環境や人とつながることができた今回のイベント。もっともっといろんな世界とつながりたい。そんな希望に満ちた1日を体験することができました。未来ISSEYのみなさま、ありがとうございました。



循環器内科

循環器内科で採用した 新規治療法の紹介

四国こどもとおとの医療センター

循環器病センター部長 成人内科系診療部長 竹谷 善雄



当院が2013年に新規開院してから10年経過しました。循環器内科も近隣の先生方のご支援を頂きたくさんの症例を経験することができました。徳島大学から派遣されてきたスタッフは当院での数多くの症例から技術を学び習得し、当院を離れた後も当院で培った経験を糧にして引き続き頑張っています。今後も引き続き変わらぬご支援をお願いいたします。

ここで最近当科で導入した新たな治療法について紹介したいと思います。狭心症のカテーテル治療ではオーピタルアテレクトミーという冠動脈内膜石灰化狭窄病変に対する治療法を導入しました。従来ローテイショナルアテレクトミーという冠動脈内膜石灰化を削るカテーテル治療を導入していましたが、より簡便で治療しやすい方法が加わりました。選択肢が広がることによりこれまで難渋していた症例にも対応できるようになっていました。検診などで冠動脈の石灰化を指摘された方などで動脈硬化のリスクがある方は是非ご紹介をお願いいたします。

不整脈の分野では植え込み型除細動器の一種で皮下植え込み型除細動器を導入しました。

これは除細動器本体を左腋下に植え込み、除細動リードを心臓内ではなく胸骨左縁に沿って皮下に植え込むもので、血管内や心臓内にはデバイスが入らず、あくまで皮下あるいは筋膜下で装置が作動するもので

す。従来の植え込み型除細動器に比べると心臓への負担が圧倒的に小さいので、心停止からの蘇生例やブルガダ症候群の症例でまだ若年の方に対してはよい適応と考えています。一方、高齢の方で永久ペースメーカーが適応となる患者様にはリードレスペースメーカーという超小型のペースメーカーを右心室内に植え込む治療法も導入予定です。これまでの永久ペースメーカーとは違い、ペースメーカーリードがないためリードによるトラブルが回避されます。また鎖骨下にもペースメーカー本体がないため外見上はペースメーカーが入っているとはわからず、ペースメーカー本体による違和感や活動制限がありません。入院期間もかなり短縮されます。しかしこれまでの永久ペースメーカーと違い本体の交換はできません。電池寿命がくると新たに2個目を追加を入れるか、従来の永久ペースメーカーを追加しなくてはなりません。3個目を追加するのは日本人の体格では困難と言われており、年齢的には80歳代以降の患者様が対象となります。原因不明の失神を繰り返す方、脈拍が少なく倦怠感がある方などの中に不整脈が隠れている症例があります。ご紹介いただければ精密検査を行いますのでご検討いただければ幸いです。

心疾患についてどのような症例でも構いません。精査加療に関してぜひご相談下さい。今後とも変わらぬご支援よろしくお願いいたします。

小児がん・血液疾患診療体制の充実

～地域の子どもを地域で診守る～

四国こどもとおとの医療センター

小児血液・腫瘍内科医長 成育内科系診療副部長 今井 剛



2022年4月に着任しました今井剛と申します。平成6年に愛媛大学卒業後、京都大学に入局し、天理よろづ相談所病院、京大、大津赤十字病院、倉敷中央病院で基礎研究・臨床に従事してきました。四国の小児医療に貢献したく2年前に愛媛大学に入局し、愛媛県立中央病院を経てこちらに参りました。着任後、白血病4例、脳腫瘍3例、固形腫瘍3例、遺伝性骨髄不全症、先天性免疫不全症を含む患者さんの新規診断・治療に取り組むことができております。すべての患者さんを地域の先生方からご紹介いただき、ご支援のおかげと深く御礼申し上げます。

本邦の新規小児がん患者数は年間2500人、15歳未満人口1万人あたり1.5人の発生率になります。上皮性がんの多い成人とは異なり、白血病、脳腫瘍、胎児性腫瘍や肉腫がほとんどで、白血病・リンパ腫、脳腫瘍、神経芽腫、腎腫瘍、網膜芽細胞腫、骨軟部腫瘍など全身に発生することを特徴とします。治療成績はここ60年で飛躍的に進歩し、最も多い急性リンパ性白血病の治癒率は90%近くになりました。一方で、生存率が50%未満の小児がんが存在することも事実です。

子どもたちの入院は半年以上におよび、両親、きょうだいにとつても家族力動が崩されるすまじい体験の期間となります。子どもたちの健やかな成長・発達だけでなく、ご家族の普段の状態をできる限り維持す

ることが重要であり、多職種の連携が欠かせません。当院でも心理士、理学・作業療法士、薬剤師、栄養士、MSW、院内学校教諭・保育士と連動して、質の高い医療・看護の提供を行っております。

当センターは、小児血液・がん専門医研修認定施設(2022年4月認定)、そして日本小児がん研究グループ(JCCG)認定施設として、小児血液・腫瘍内科、小児外科、小児脳外科、放射線科、病理診断科など小児がんにかかる専門家の力を結集して、迅速に標準的な集学的治療に取り組んでいます。

成書には「診断のための検査はほぼ確立されている。小児がんを疑うことで診断率は年間1%、脳腫瘍においては2%上昇する」と述べられています。CBC異常、肝脾腫、骨痛・関節痛、神経学的異常を伴う頭痛、持続するリンパ節腫脹、出血斑など、地域先生方の最前線での小児診療をきっかけに、早期診断・治療が開始可能となります。

専門外来は火曜と金曜ですが、隨時ご紹介を受けております。造血器悪性腫瘍、脳腫瘍・固形がんから、先天性溶血性貧血、血小板減少症、そして凝固異常症まで幅広く柔軟に対応させていただきます。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。